

大阪錦画日々新聞紙

文庫 25号

神田豊島町二丁目木村亀吉といふ愚ものが
此より辻君をひやくにお母夜く佐久間西河岸
へ出ひて兎角辻君の邪心をもつらら露の
流との泥水へ遠より亀お困らせ銭を
まじり建て去るまる手の内を持ってくる病
あり終ふれ辻君も強うあり明治八年四月
七日の晩相あらば 来るかりソレ
おとすのま置 ちと辻君が
空身さふく袋た
いれされ上お鍋炭
を顔へやらしやいや
外聞のむつら事でありまを
讀賣十八号ふ一笑せり

文華堂記



廿九一

小修改
百八拾
重

錦画
文庫
25号

大阪錦画日々新聞紙 25号 文庫10-8068-20

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library